



8

2024

社協シンボルマーク
(社の字を図案化したものです)

ぬくもり

第43号

発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

menu

- 会長あいさつ
- 令和5年度
事業実施報告
- 令和5年度
一般会計決算報告
- 令和6年度事業計画
- 令和6年度
資金収支予算
etc.



写真：いきいきサロン「おもない」

盆踊り

の由来

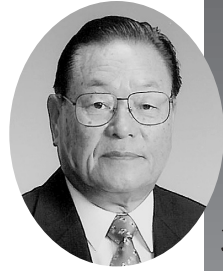


「盆踊り」の起源は神聖な行事であり、お盆の時期にお迎えしたご先祖様の霊をもてなして一緒に過ごして送り出す行事として、何百年も前から行われてきました。元々は仏教の「念仏踊り」が起源であるとされています。「念仏踊り」とは、自分自身で念仏を唱えながら踊るというもの。後に踊る人と念仏を唱える人が分かれ、「踊り念仏」へと発展しました。

これらの踊り念仏とお盆が結びつき、現代の盆踊りが誕生します。本来、旧暦の七月十五日に盆踊りを行って十六日にご先祖様の霊を送り出します。

宗教的側面が非常に強く、先祖の霊を大切にしていくながら、大事な行事として守られてきました。

地域福祉活動の推進について



社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

会長 藤谷 利弘



町民の皆様におかれましては、日頃より当社協に対し、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も5類に移行されてインフルエンザと同じようになりました。行動制限もなくなり、私たちの暮らしも感染予防による毎日から緩和されてきましたが、ここに来て、また、全国的に感染の拡大傾向が見え始めております。コロナウイルス株もどんどん変異を繰り返し、今は、「K P 3」という株が流行してきており「第11波」に入ったとの見方もあり、しばらくの間は中心となって流行するだろうと言われております。特に、高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化リスクも高まりますので「マスクの着用」、「換気」、「手洗い・手指消毒」などの基本的な感染対策をしつかり行っていくことが重要であると思います。

近年、世界的にも地震や大雨災害が頻繁に発生している状況にあります。日本でも今年

の一月一日に最大震度7の揺れを観測した能登半島地震の発生から八月一日で七か月となりました。地震の発生により、尊い命が犠牲となり、さらに多くの家屋等の倒壊などにより、ケガをされた方々など甚大な被害が発生しました。犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

今後は、巨大地震の発生が予想されているところもあり、多くの被害が発生するものと考えられ、十分な備えが必要であると考えます。

また、集中豪雨等による水害が全国各地で頻発しており、梅雨前線の停滞や台風の接近等を原因として、線状降水帯が発生し、短時間で猛烈な雨が降り河川の氾濫や土砂災害を引き起こしています。

当町においても十三町内会での「自主防災組織」の活動は高齢者や障害者を含め「災害から命を守る」活動として重要性が高まっています。

各町内会において安全で住みやすい災害に強いまちにするための「自主防災活動」に於ける避難訓練や炊き出し訓練、避難所の運営等々について、支援して参ります。

最近、新聞・テレビ等で「終活」という言葉をみなさん見聞きすることがあるかと思いますが。「残りの人生をよりよく生きるための終活」活動ということですが、具体的なことについては、人によってそれぞれ異なると思います。「終活」は、単なる人生の終わりというだけでなく、残りの人生をどのように生きるか、そして、最後まで自分らしく安心して生きるかということであると思います。町と連携を図りながら、この「終活」活動事業について、今年度、進めてまいります。

今後とも、地域福祉の推進役として、皆様方に理解され支持されるよう役職員が一体となりますので、事業運営に邁進して参りたいと思っておりますので、町民の皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

◆◆◆ 令和5年度 事業実施報告 ◆◆◆

1. 法人運営部門

(1) 地域福祉活動の総合的推進

1) 法人の運営

①正・副会長会議の開催	3回	②理事会の開催	4回
③評議員会の開催	3回	④監査会の実施	3回

2) 福祉活動の総合的推進

①各種大会・研修会等への参加	6回
----------------	----

2. 地域福祉活動推進部門

(1) 安心・安全福祉のまちづくり機能の充実

1) 地域ネットワーク機能の整備推進

①福祉有償ボランティアの会の運営支援及び設置支援	5町内会
--------------------------	------

2) 福祉課題の把握

①各福祉団体・関係機関との情報交換の実施	32件
----------------------	-----

3) 広報、共同募金運動の推進

①社協だより「ぬくもり」	年2回発行
②共同募金運動	募金総額 1,215,173円

(この内約7割が地域福祉活動資金として配分されます)

(2) 地域福祉活動機能の整備充実

1) 社協ささえ愛支援事業の推進

①いきいきサロン開催事業（町委託）

- ・高齢者・障がい者を主な対象とし、閉じこもりや孤立感の解消のため地域住民が主体となり、地域でのふれあい・仲間づくり等交流の場として開催。

11町内会 合わせて64回開催 1,190人参加
(参加者 1名 300円 1回 定額 5,000円 助成)

②シニア有償ボランティア事業

5町内会

- ・高齢化社会における新たな生きがいをづくりと各町内会会員それぞれが今日まで貯えた経験や技術を生かしたボランティア活動。

1団体 50,000円 助成

(利用者からの謝金 基本1回又は1時間500円以内)

③有償ボランティア事業（除雪サービス）（町委託）

- ・独居老人世帯等の冬期間における玄関前の通路等を確保するための除雪支援。

対象者 57人 (1人当謝金 月額 7,000円×3ヶ月)

除雪機燃料費 定額1台 10,000円 助成)

④自主防災活動事業

- ・全国各地で多発する災害をふまえて、日常的な防災への取組を強化し、各町内会において、災害から身を守るため自主的な防災活動を実施。

地域防災組織活動事業（町委託）

10町内会 (1団体 50,000円 助成)

炊き出し訓練事業

6町内会 (1回15,000円(上限)・年2回まで助成)

⑤子ども安全見守り活動事業

・小・中学生の通学路で、登下校時の不審者や交通事故対策のため見守りを実施。

4町内会実施（1団体 30,000円 助成）

（３）高齢者等福祉活動の推進

①知内町老人クラブ連合会・知内町身体障害者福祉協会・知内町白ゆりの会
松前地区保護司会知内支部への運営支援（助成）

（４）社協ボランティア機能の充実

①婦人赤十字奉仕団・ボランティア連絡協議会・知内高校ボランティア部への運営支援（助成）

3. 福祉サービス利用支援部門

（１）地域包括支援センターの窓口機関の機能充実

- ①地域福祉権利擁護事業の周知・推進生活福祉資金貸付事業の周知
- ②総合相談事業（43件）（町委託）
- ③各福祉サービス事業者との情報交換及び研修

（２）生活福祉資金等貸付事業の推進

- ①他の貸付制度が利用できない低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯に対し、経済的自立と生活の安定を目指すことを目的とした相談貸付支援。（北海道社会福祉協議会）
- ②生活応急資金の相談貸付支援（知内町社会福祉協議会）

（３）地域支援事業の推進

①高齢者等訪問見守り活動事業

一人暮らしの高齢者や障害者宅を定期的に訪問し、安否確認を行う。

対象者 17人（1人 1回150円 助成）

②外出支援サービス事業（町委託）

公共交通機関を利用する事が困難な介護認定者及び身体障害者を対象として通院、買い物、金融・公共機関等への移動支援を行っている。

利用者 269人 利用回数 783回

③家族介護用品支給事業

4件

④福祉灯油購入費助成事業（町委託）

高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯の灯油購入に対しての助成（1世帯 15,000円）

利用世帯数 高齢者世帯 268 障がい者世帯 9 ひとり親世帯 11

4. 在宅福祉サービス部門

（１）居宅介護支援事業の充実

①可能な限り居宅において自立した生活ができるように、利用者の選択により効果的にサービスが提供できるよう努める。

利用者数 延べ297人

（２）訪問介護（ホームヘルプサービス）事業の充実

①入浴、排泄、食事、通院、買物など生活全般にわたり、きめ細やかなサービスの提供に努める。

要支援1～2 利用者 延べ228人 利用回数 延べ 850回

要介護1～5 利用者 延べ260人 利用回数 延べ2,503回

（３）障害者自立支援事業の推進

①身体障害者、知的障害者、児童、精神障害者に対し、決め細やかなサービスに努めると共に、自立誘導への視点で対応する。

利用者 延べ 17人 利用回数 延べ 55回

◆◆◆ 令和5年度 一般会計決算報告 ◆◆◆

去る、6月11日に開催された理事会及び6月26日に開催された評議員会において令和5年度の決算が承認されました。

今後も地域福祉増進の中核団体として、その役割を果たすため日々努力して参りますので、町民皆様のご理解とご協力をお願い致します。

貸 借 対 照 表

資 産 の 部	金 額 (円)
科 目	
流 動 資 産	30,081,708
現金預貯金	22,681,677
事業未収金	7,400,031
固 定 資 産	46,670,980
基本財産	1,000,000
その他の固定資産	45,670,980
車両運搬具	2,561,702
器具及び備品	139,781
退職給付引当金資産	3,814,950
福祉基金積立預金	30,150,418
減価償却積立預金	0
人件費積立資産	1,510,000
備品等購入積立預金	3,480,000
ささえ愛活動事業積立預金	3,861,129
貸付事業貸付金	153,000
資 産 の 部 合 計	76,752,688

負 債 の 部	金 額 (円)
科 目	
流 動 負 債	3,845,264
事業未払金	1,181,485
預り金	760,268
職員預り金	103,505
賞与引当金	1,800,006
固 定 負 債	3,814,950
退職給与引当金	3,814,950
負 債 の 部 合 計	7,660,214
純 資 産 の 部	
基 本 金	1,000,000
基 金	30,150,418
国庫補助金等特別積立金	2,479,221
その他の積立金	8,851,129
人件費積立金	1,510,000
備品等購入積立金	3,480,000
ささえ愛活動事業積立金	3,861,129
次期繰越活動収支差額	26,611,706
純 資 産 の 部 合 計	69,092,474
負債及び純資産の部合計	76,752,688



資 金 収 支 決 算

(収入)

科 目	金 額 (円)
会 費 収 入	380,700
分 担 金 収 入	1,300
寄 附 金 収 入	423,458
経常経費補助金収入	7,763,609
受 託 金 収 入	20,328,168
貸 付 事 業 収 入	0
介護保険事業収入	16,641,673
障害福祉サービス等事業収入	112,290
受取利息配当金収入	34,372
そ の 他 の 収 入	201,135
施設整備等補助金収入	0
基金積立資産取崩収入	870,000
積立資産取崩収入	2,949,062
合 計	49,705,767

(支出)

科 目	金 額 (円)
人 件 費 支 出	30,995,461
事業費支出	8,207,414
事務費支出	3,685,388
貸付事業支出	50,000
共同募金配分金事業費	742,446
助成金支出	1,483,700
固定資産取得支出	0
積立資産支出	582,840
合 計	45,747,249

(収入) - (支出)	3,958,518
前期未支払資金残高	24,077,932
当期末支払資金残高	28,036,450



～*～*～ 令和6年度 事業計画 ～*～*～

1. 法人運営部門

地域福祉活動の総合的推進のための理事会、評議員会等の開催のほか、経理規程に伴う会計事務を適正に処理し、「社会福祉充実計画」に沿った取り組みを進めてまいります。

2. 地域福祉活動推進部門

地域で発生している様々な福祉課題解決のため、住民参加や協働による福祉活動の支援、福祉のまちづくりのために、地域福祉活動推進の中核的な役割を担い、次の事業を実施してまいります。

(1) 福祉のまちづくり機能の充実

- ・町内会役員・地域有識者等による「地域福祉懇談会」の開催
- ・福祉課題の把握、分析から、新たな地域福祉活動の推進
- ・広報、共同募金運動の推進

(2) 地域福祉活動機能の整備充実

- ・社協安全・安心ささえ愛活動支援事業の推進
 - ア) いきいきサロン等地域住民の生きがいづくりの推進
 - イ) まちカフェ「ころない」運営の充実
 - ウ) 自主防災組織運営支援の推進
 - エ) 要援護者の訪問安心見守り事業の推進
 - オ) 福祉有償ボランティアの会運営支援及び新規設立の推進
 - カ) 子ども見守り隊活動支援

(3) 在宅高齢者等福祉活動の推進

- ・高齢者、障害者、母子福祉活動の推進

(4) 当事者組織（団体）等への支援

- ・知内町身体障害者福祉協会
- ・知内老人クラブ連合会
- ・知内町白ゆりの会
- ・知内町婦人赤十字奉仕団

(5) 社協ボランティアセンター機能の充実

- ・日常生活を送るための福祉ニーズに対し住民参加による支援の仕組みづくり等、行政や関係機関との連携・体制整備の推進
- ・ボランティアセンター運営委員会及び各ボランティア団体への支援活動の推進

3. 福祉サービス利用支援部門

高齢者や障害者等の福祉サービス利用者や住民の立場に立ち、福祉サービスの利用、地域生活の

支援に向けた相談支援活動、地域全体の介護サービスや福祉サービスの情報提供、連絡調整を行うため、次の事業に取り組んでまいります。

- ・福祉サービス利用援助事業の推進
- ・地域包括支援センターの窓口（ランチ）機関としての相談活動の推進
- ・日常生活自立支援事業の推進
- ・生活困窮自立支援事業の推進
- ・成年後見人制度（市民）等の体制整備
- ・介護予防、地域支援事業の推進
- ・総合相談生活支援事業の推進
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・第三者苦情処理委員会開催、運営
- ・虐待防止委員会の開催、運営
- ・各福祉サービス事業者等との研修事業
- ・生活支援コーディネーターの活動推進
- ・残りの人生をよりよく生きるための終活活動の推進

4. 在宅福祉サービス部門

介護保険や障害者自立支援法等による事業展開をする中で、地域の福祉課題に即応した質の高いサービスを提供し、地域の福祉サービスや介護サービスの水準の向上に努めます。また、利用者の立場に立ったサービス、低所得者や困難ケースなどへの対応にも取り組んでまいります。

さらに、虐待防止や身体拘束等の適正化及び苦情解決における第三者委員会からの提言、第三者評価等の意見に積極的に耳を傾け、利用者保護への対応など運営基準や各種法令を遵守し、信頼される公共性の高い運営に努め、次の事業を実施してまいります。

(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン等）の充実

- ・ケアマネージャー等資質向上のための研修

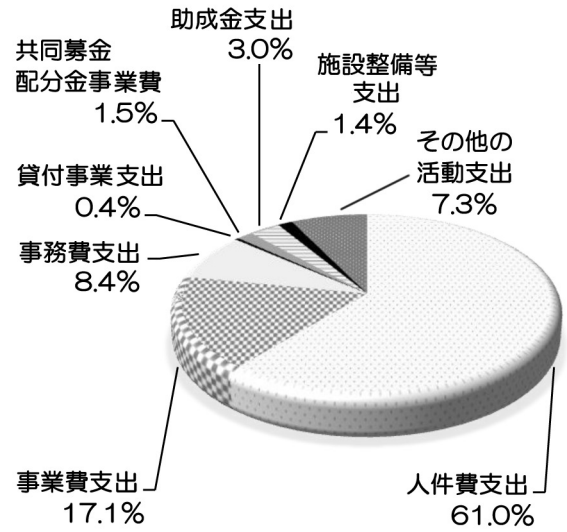
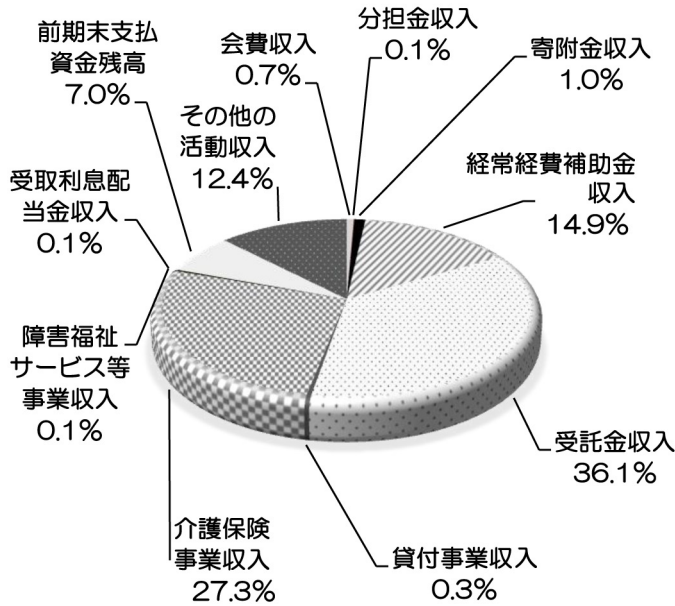
(2) ホームヘルプサービス事業の充実

- ・要介護ホームヘルプサービス事業
- ・障害者自立支援法に係るホームヘルプサービス事業
- ・外出支援（福祉有償運送）事業等
- ・ホームヘルパー資質向上のための研修
- ・人材育成支援のため各種資格取得を誘導し、ホームヘルパーの資質向上
- ・介護職員の人材確保と他の業種との格差解消に努め、処遇改善制度の活用

～*～*～ 令和6年度 資金収支予算 ～*～*～

収入 計 56,498千円

支出 計 56,498千円



(単位：千円)

勘 定 科 目		合 計	法人運営事業	介 護 事 業
事業活動による収入	会 費 収 入	375	375	0
	分 担 金 収 入	3	3	0
	寄 附 金 収 入	600	600	0
	経 常 経 費 補 助 金 収 入	8,404	7,354	1,050
	受 託 金 収 入	20,430	16,238	4,192
	貸 付 事 業 収 入	200	200	0
	介 護 保 険 事 業 収 入	15,410	0	15,410
	障 害 福 祉 サービス等事業収入	94	0	94
	受 取 利 息 配 当 金 収 入	4	1	3
	事業活動収入計 (1)	45,520	24,771	20,749
事業活動による支出	人 件 費 支 出	34,456	13,139	21,317
	事 業 費 支 出	9,638	6,769	2,869
	事 務 費 支 出	4,719	3,120	1,599
	貸 付 事 業 支 出	200	200	0
	共 同 募 金 配 分 金 事 業 費	855	855	0
	助 成 金 支 出	1,700	1,700	0
	事業活動支出計 (2)	51,568	25,783	25,785
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-6,048	-1,012	-5,036
施設整備等	施 設 整 備 等 収 入 (4)	0	0	0
	施 設 整 備 等 支 出 (5)	800	800	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-800	-800	0
その他	そ の 他 の 活 動 収 入 (7)	7,000	0	7,000
	そ の 他 の 活 動 支 出 (8)	4,130	280	3,850
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,870	-280	3,150
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		-3,978	-2,092	-1,886
前 期 末 支 払 資 金 残 高 (11)		3,978	2,092	1,886
当 期 末 支 払 資 金 残 高 (10)+(11)		0	0	0

防 災 訓 練

本年度の防災訓練は、5月12日の「涌元町内会」の炊き出し訓練から始まり6月6日には「前浜町内会」6月9日には「涌元谷地町内会」7月21日には「きらく町内会」で行われております。今後も各町内会において実施する予定となっておりますので積極的に活動を支援して参ります。



「前浜町内会防災訓練」
(AEDを活用した救急救命訓練)

知内町身体障害者福祉協会活動



「会員が作成した交通安全マスコットを
新入学児童に対して寄贈」

◎会員を募集しています！

現在、会員が減少となっていることから、新規会員を募集しております。当協会の主な活動は、交通安全活動、福祉・スポーツ大会参加、視察研修などです。年齢制限はありませんので身体障がい者手帳をお持ちの方は、是非、一度ご連絡ください。

(事務局 知内町社協 ☎5-4071)

終 活 セ ミ ナ ー 開 催

今年度「終活」セミナーを「いきいきサロン」の中で開催しております。最近、新聞、テレビ等で「終活」という言葉を目にしたり、耳にすることがあるかと思います。

「終活」の意味合いとすれば「人生の終わりについて考える活動」ということですが、具体的なことについては、人によってそれぞれ異なります。当社協としては、残りの人生を充実させる手段として町と第一生命(株)さんが協力し策定した、エンディングノート「大切な方への絆ノート」を活用し、書き方等について第一生命さんの協力を得ながら開催しております。



いきいきサロン 「わくもと」



いきいきサロン 「ひだまり」

社協だより「ぬくもり」 令和6年8月号 発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

〒049-1103 上磯郡知内町字重内21-1 知内町民センター内

TEL (01392) 5-4071 FAX (01392) 5-7441